

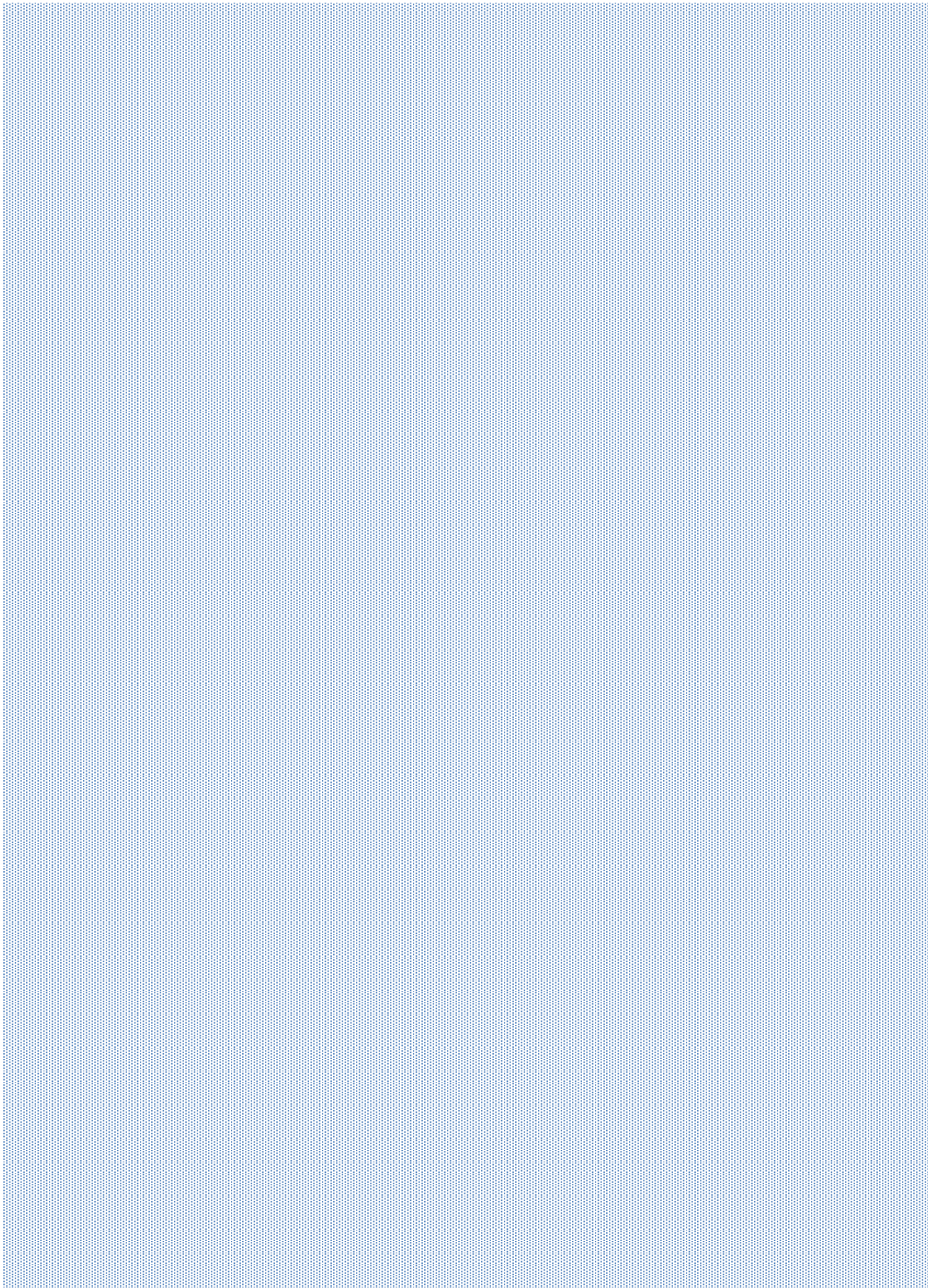
令和5年度 <sup>すいせん</sup>推薦に基づく入学者選抜

## 小論文

<sup>ちゅういじこう</sup>注意事項

1. 問題は設問Ⅰから設問Ⅲまでで、2ページにわたって印刷してあります。
2. 検査時間は50分で、終わりは12時30分です。
3. 声に出して読むはいけません。
4. 文章はすべて記述用紙に明確に記入し、記述用紙だけを提出しなさい。
5. 文章を直すときは、きれいに消してから書きなさい。
6. 受検番号は記述用紙の決められた欄<sup>らん</sup>に記入しなさい。
7. 記述用紙について
  - (1) 縦書きで書きなさい。
  - (2) 必要に応じて、段落を作ってもよい。作る場合は空白を1マスとして数える。
8. 問題の内容についての質問には一切応じません。

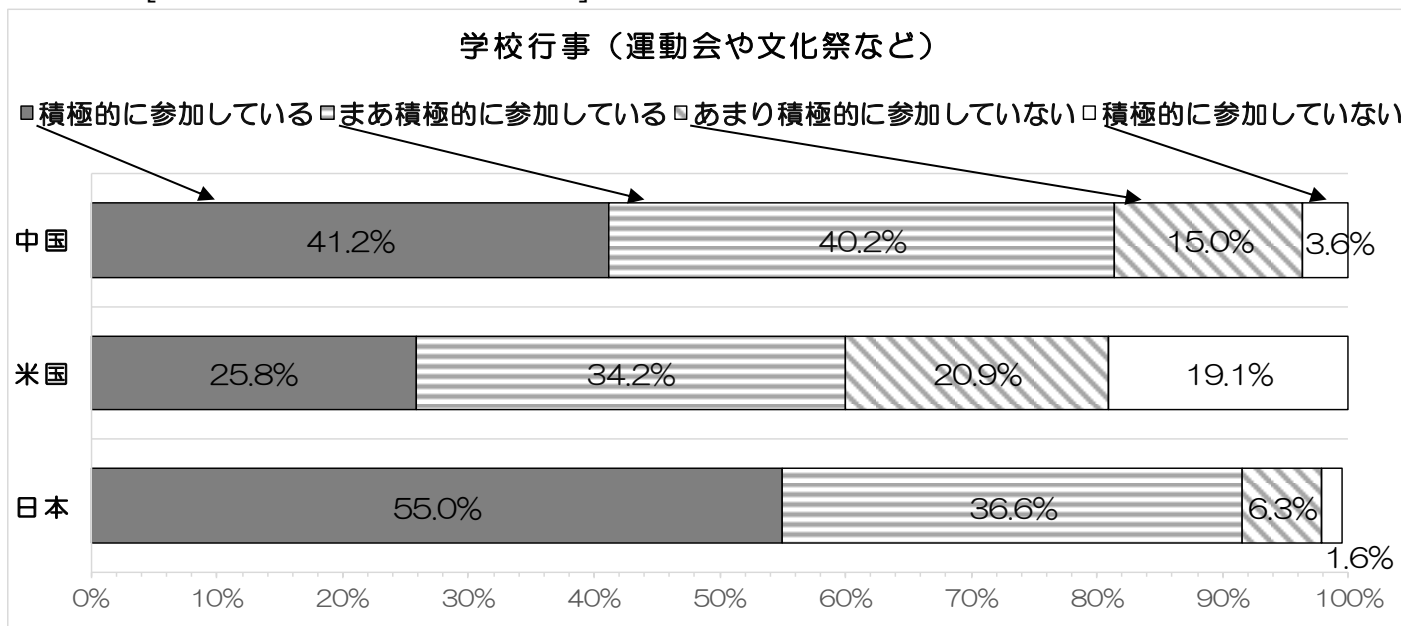
東京都立調布南高等学校



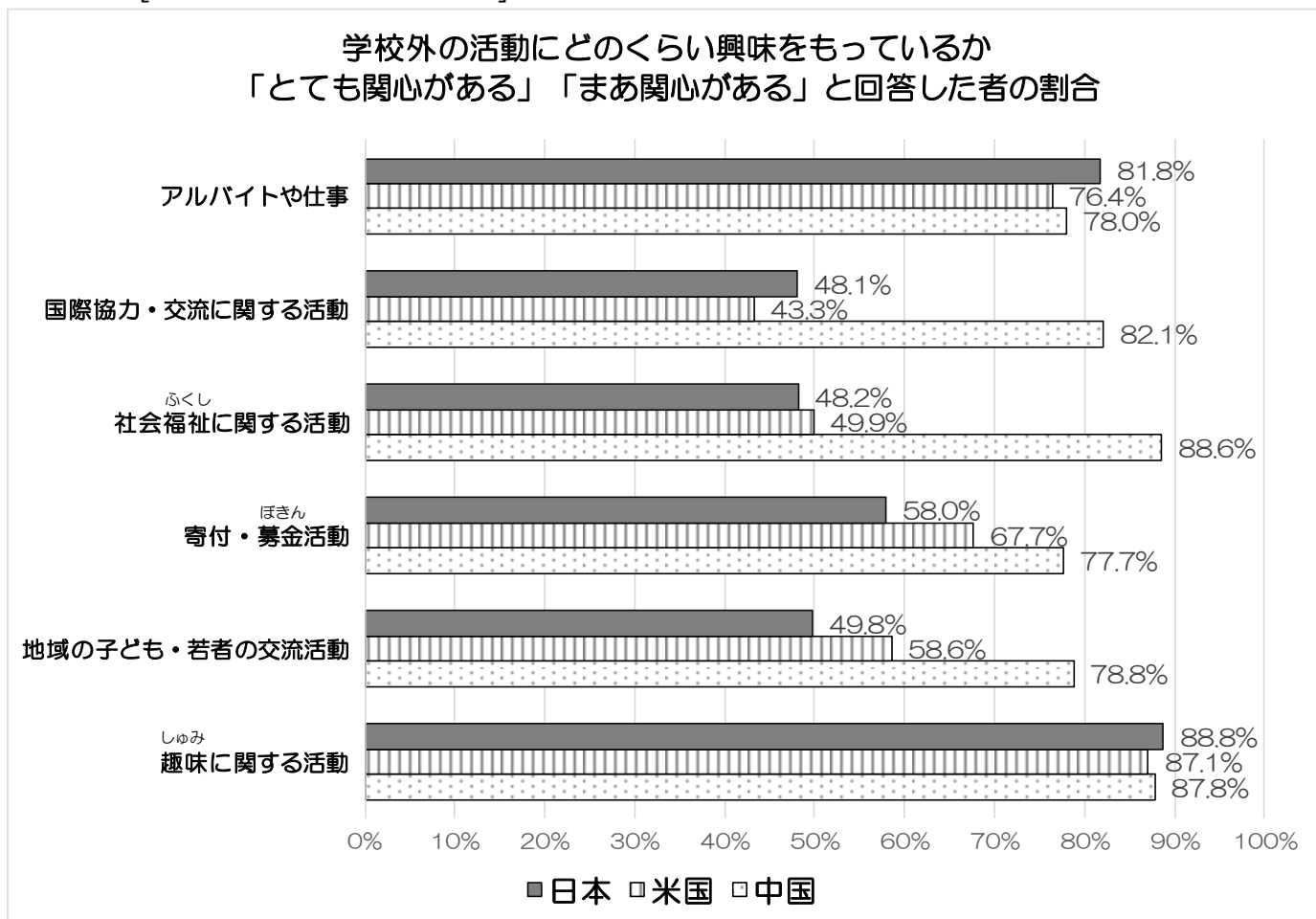
(余白)

国立青少年教育振興機構は令和2年9月から令和3年2月にかけて、高校生の社会参加に関する意識と実態の調査を実施した。その結果を示した資料1～3に関する設問に答えなさい。

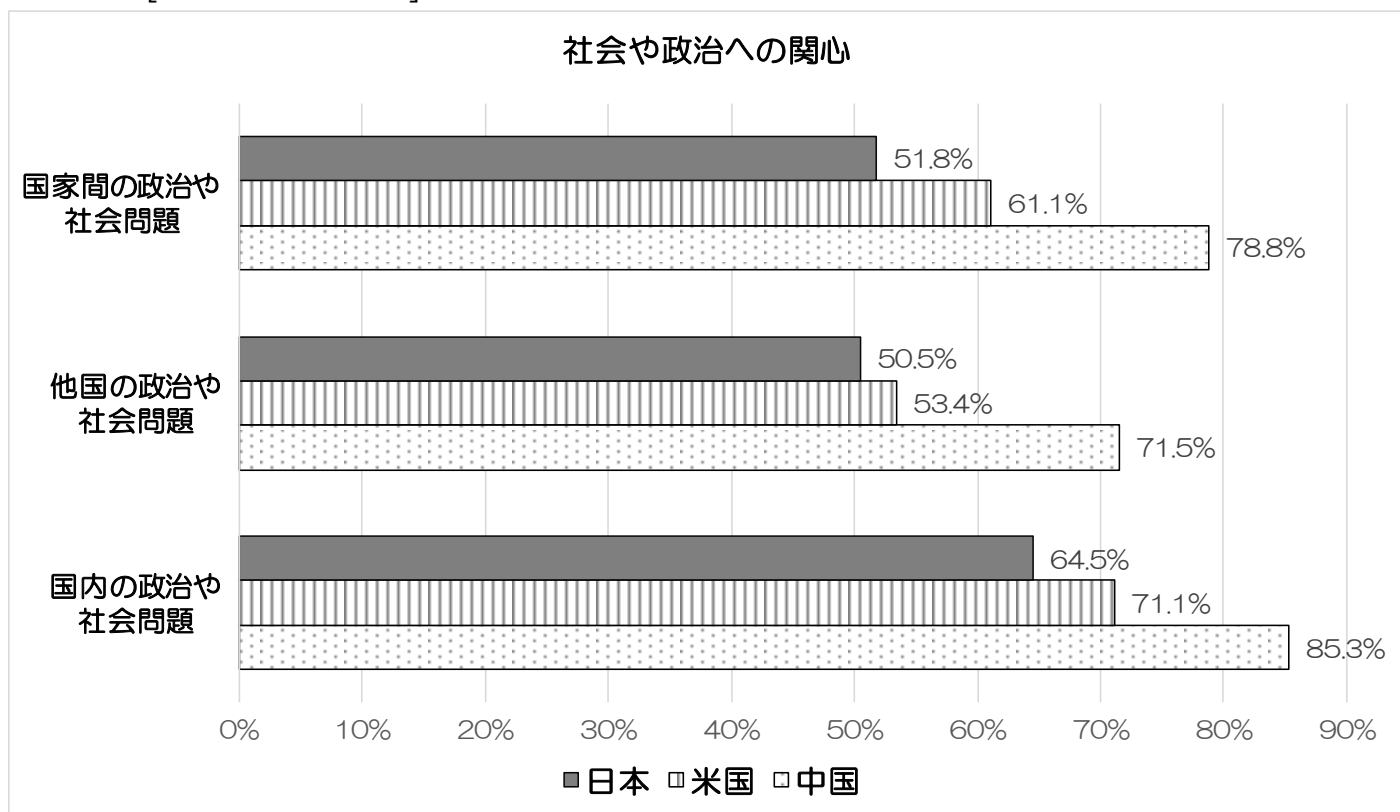
資料1. [学校内の活動への参加意識や態度]



資料2. [学校外の活動への参加や関心]



資料 3. [社会や政治への関心]



(出典) : 独立行政法人国立青少年教育振興機構「高校生の社会参加に関する意識調査報告書」(令和3年度)

設問 I. 次のア～オについて、資料 1～3 のグラフの説明として正しいものには○を、誤っているものには×をそれぞれ解答欄に記入しなさい。

- ア 資料 1 から米国の高校生の「積極的に参加している」割合は 4 分の 1 を超えている。
- イ 米国の高校生は学校行事の参加意識が低く、社会や政治への関心も他国に比べ最も低くなっている。
- ウ 中国の高校生は学校外の活動に関して、すべての項目の割合で日本より高く、米国より低い。
- エ 社会や政治への関心が最も高い国は、総じて国際協力・交流に関する活動にも非常に高い興味を持つが、学校行事への参加意識は最も低い。
- オ 資料 2 から、全ての項目で日本と米国との割合の差は 10 %以下に収まっている。

設問 II. 資料 1 と資料 3 をふまえ、日本の高校生はどのような特徴があるか 100 字以内で答えなさい。

設問 III. 資料全体をふまえ、現在の日本の高校生の課題をあげ、今後どうあるべきか具体的な解決策を述べ、400 字以内で答えなさい。

(余白)

